

2011年度 化学Ⅱ 指導と評価の年間計画

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材等
理科	化学Ⅱ	4単位	3年	啓林館 「高等学校化学Ⅱ」	数研出版「フォトサイエンス化学図録」 啓林館「Master化学Ⅰ」 東京書籍「Lets' Try Note」

到達目標	適宜「化学Ⅰ」の内容をふり返りつつ「化学Ⅱ」の基礎を固め、「化学Ⅰ・Ⅱ」全分野にわたっての応用力を養う。
到達に向けての具体的取り組み (指導上の留意点)	1年次の化学Ⅰでは無機物質・有機化合物を十分に扱えなかったため、2名の教員で2単位ずつA、Bに分け、Bでは化学Ⅱの物質の構造・反応速度と平衡の分野を学習する。Aでは化学Ⅰの無機物質・有機化合物から化学Ⅱの生活と物質の分野を学習する。12月、1月はセンター試験・一般入試の演習を行う。

A 物質の構造から反応速度と平衡

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4	化学Ⅰの復習	化学Ⅰの内容の全体的な復習	定期考査・課題レポート等を総合して評価する。	物質量の計算ができていないか。
5	第1編 1章 化学結合	化学結合、物質の状態変化		各結合・各結晶の違い、特徴が理解できているか。
6 7 8	2章 物質の状態	気体の性質 溶液の性質		気体の法則、理想気体と実在気体、溶解度、希薄溶液の性質が理解できているか。
9 10 11	3章 反応速度と平衡	反応の速さ 化学平衡		化学反応の速さを決める因子が理解できているか。 平衡移動・平衡定数等が理解できているか。
12 1	センター試験演習	化学Ⅱを中心としてⅠ・Ⅱ全般		

B 有機化合物から生活と物質

月	単元・教材名	指導内容	評価の方法	評価の観点
4	無機物質の復習	遷移元素の性質	定期考査・課題レポート等を総合して評価する。	無機物質の性質・特徴等が理解できているか。
5 6 7 8	有機化合物	炭化水素・含酸素化合物・芳香族		有機化学の基礎が理解できているか。
9 10	食品の化学 (第3部生命と物質内容も扱う)	炭水化物・タンパク質・脂質 消化・呼吸・エネルギー代謝		糖・タンパク・油脂の性質・特徴・生体内での役割等が理解できているか。
11	衣料の化学 材料の化学	天然繊維・合成繊維 プラスチック 金属・セラミックス		天然・合成繊維の性質・特徴が理解できているか。 金属・セラミックスと産業との関わり等が理解できているか。
12 1	センター試験演習	化学Ⅰを中心としてⅠ・Ⅱ全般		

